

ニース→チューリッヒ

近代・古代のローマをあとにして、ガフリと変る風物の南仏ニース。美しい南国の雰囲気は、馴染み深いサボテンから始まる。食事もグッとフランス調にブドウ酒が付き、話に聞くパリの、木の代りのブドウ酒に、まだ見ぬパリに思いを馳せる。

ニースから現代のシンデレラの国モナコへ向う。丘の上に立つ美しい王宮、そして、青い海辺に浮ぶ王家の持船である豪華なヨット、たゞ夢の様なそのすべては、お伽の国のシンデレラが現代に変わっても、少しも不思議ではない。

多くの期待と、ドキ／＼する様な好奇心を持ってモンテカルロのカジノへ入る。しんとした部屋の中は映画で見た通り、世界の国々から集まった多くの人々が、各種類のお金を両替えし乍ら、バクチに心奪われている様子は、中々壯観なものである。大きなお金をボン／＼賭けて、ゆっくり葉巻をくゆらし、すましかえっている紳士、クル／＼廻るルーレットの前に、素晴らしいドレスに身を飾った御婦人方が、一寸、我々の通念からかけ離れた社会を生み出している。ジュネーブへ行く為、エール・フランス機に乗

る。機内は、フランスらしい香りが濃く、何処となく洒落た感じの装飾、矢張りお国柄だろうか？ スチュワーデスも気が利いていて、旅も楽しい。

ジュネーブでは、国連本部を見学した。各国の材料で色々の国の部屋が出来ており、素晴らしい絵画と、庭の芝生の緑が目にしみ、特に、中央にある国連のマークと地球がとも印象的だった。そして、多くの外国語の中に混る、我々の日本語を見出した時、あゝ、日本も国連に参加しているんだ、という実感が、改めて湧いて来たのも大きな喜びの一つだった。ジュネーブからは、汽車に乗る。

色彩の綺麗なスイスの汽車は窓が大きく、赤いお屋根に緑の芝生、広々とした放牧場がゆったり眺められ、東海道線から見える汚い看板だらけの日本とくらべて、窓外の景色でも、インターレーケン迄の道のりが短かった。

ユングフラウヨッホの頂上へ有名な登山電車で登る。期待していた頂上では雨が降り、折角の雪渓も雲の切れ間に、ほんのわずかししか見える事が出来なかったのは本当に心残りだった。山に沿って建っているホテルは、何処が二階か三階か判らない様な、崖をうまく利用した建て方で、食堂はその一番上にあり、景色を一望の元に見渡せる。

この美しい土地に生れ、食料の豊富な中に豊かに育った人達に、犯罪も戦争も起る筈がない。色どり豊かな手のこ

んだ刺繍の、ハンケチ、ブラウス等も、この落ち付いた平和な生活環境から生れ出る産物ではないかなと考え、狭い日本の中で、せり合って暮らしている我々の生活と比較して、些か羨しい。

チューリッヒにはバスで、道の両側に眺められる山や、農家の間を走る。途中、放牧されて帰る牛の群に出会う。直径20cmもある大きなグロックンという鈴を鳴らし乍ら、のんびり通るこの牛の行列で、バスも車もみなストップさせられ、待つ事しばし、如何にもどかなスイスの田園風景だった。

チューリッヒ

此の都市の昼間の美しさもさる事ながら、夜の町を散歩してすっかり感心してしまった。ショウウインドに灯りがついて、商売をしている様に飾られてある。良く見れば閉店後の店なのに、入口のドア迄気を使い、美しく配置された商品が表から眺められ楽しい夜の町を形造っている。閉店と同時にバッタリ町が暗くなる日本の、学ぶべき点ではないだろうか。

買物のプランを胸に若い二人が、仲良くウインドを眺めて歩いている姿は、本当にほ／＼えましい。今度はこちらを買いますよ、とか、いや、こっちの方が安くていいよ、などと、云い合う丈でも幸せなのだろう。

お菓子屋さんのウインドも中々シックで、枯葉、等を散らしてシーズンを強調している。商売柄、Xマスのシーズンの飾りつけを、見たかったなとつく／＼思った。

或るチョコレート工場の見学で、何故スイスのチョコレートが美味しいかという点、①技術と伝統を重んじている(新しい器械が出来てもとびついて行かない)②最上の材料を使う(よく材料を吟味して悪いものは絶対に使わない)③自分達にも判らぬ何ものかがある。以上三つの理由をきいたが、殊に最後の③は、鉛細工が少しもとけないで、何時迄もそのままの姿でいられたり、ビスケットがしけらないのも、お菓子がカビたりくさったりしないのも、すべて気候風土に恵まれているからではないかと思った。

夜は、スイスの昔の服装をしたウエイトレスのいる店で、音楽をきき乍ら食べたフォンデュの味は忘れられない。チーズとお酒をお鍋の中でグツ／＼煮て、トースト・パンを小さく切ったのを、長いフォークにさして煮立った中に入れ、クル／＼廻してフウ／＼冷ましながら食べる。飲み物はブドウ酒かお酒で、それ以外の水は絶対に飲んではいけないという。お腹の中でチーズが固まってしまおうかと

美しいチューリッヒをあとに、スイス航空の飛行機はケルンに向けて飛び立つ。